# 芳工連だより

'16／10
第 148号

□ 発行 芳賀町工業団地連絡協議会　□ 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台 98　□TEL 028(677)5033
□ http://www.hokoren.com　□ E－Mail：information@hokoren.com　□編集責任者 七井 真人


## ■ 町長との意見交換会開催

町長との意見交換会を９月２１日工業団地管理センターにおいて開催しました。

芳賀町から見目匡町長、上野哲男副町長、見目政子教育長はじめ各部課長１７名の皆様にご出席いただきました。芳工連からは役員、正副部会長はじめ会員企業１７社から２１名の出席がありました。

富永英夫副会長は挨拶で、「河合会長が海外出張により出席できないことから会長に代わりご挨拶申し上げます。日頃から芳賀町執行部の皆様には、各種要望等について迅速なご対応をいただいており、改めて会員企業を代表して厚くお礼を申し上げます。

本年４月に発生した熊本震災では甚大な被害があり、昨年９月の豪雨では栃木、茨城に大きな被害が発生しました。本年も台風による河川氾濫等で全国に大きな被害が出ています。

芳工連では会員企業とともに、自然災害への備えなどを含めた「安全・安心」な工業団地づくりを目指して鋭意取り組んでおります。

交通渋滞対策や交通安全の向上を喫緊の課題と捉え、宇都宮向田線大塚地内のバイパス整備事業の早期完成を要望し、今年は補助金の形で予算を確保いただきました。このほど宇都宮向田線整備推進期成同盟会が設立され、バイパスの早期完成が期待できるのではないかと考えます。

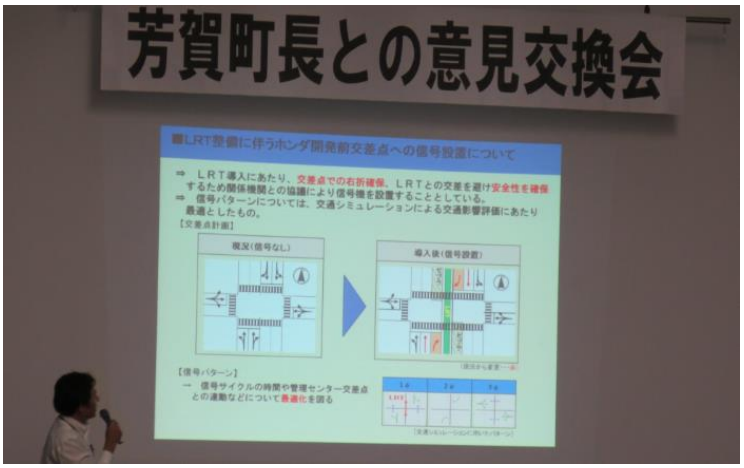
昨年度は、工業団地内の宇都宮・茂木線バイパスに長年要望していた信号機が設置されました。また、本田技術研究所様南側の町道拡幅工事が６月から供用開始されたことで交通渋滞が劇的に解消されております。このように芳賀町によるご支援のおかげで懸案事項が解決されています。改めて感謝申し上げます。今後とも芳賀町と芳工連の連携が更に深まることを願っております」と述べました。

見目町長から、次のようにご挨拶をいただきました。「芳工連の皆さまには、町及び町観光協会が ８ 月開催したロマン花火大会に多額の協賛金を頂戴して感謝申し上げます。さらに熊本地震の災害義援金についても当町と関連があることから大津町へ拠出しましたが、芳工連からの義援金を一緒にお届けしました。

町では昨年度一年間かけて第 ６ 次芳賀町振興計画をまとめ、「躍動する芳賀の町　未来につなげよう」というイメージで、LRT 事業なども盛

込みスタートしました。
　LRT 事業については、１月に軌道運送高度化実施計画を国交省へ提出しました。今年度中には事業認可を得られる見込みです。
　また、県道宇都宮・向田線大塚工区の整備については補助金による予算付けが決定しました。今後ともご理解と御協力をお願いし、本日の会議が稔りのある会議となるよう願っています」

■ 平成２８年度芳賀町行政運営方針について、見目町長から次のような説明がありました。
　国が推進する地方創生については、「芳賀町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しましたので第６次芳賀町振興計画とリンクするよう進めます。第６次芳賀町振興計画の５分野については次のとおりです
　（１）便利をつなげる都市基盤分野は、LRT 事業の着工に向けて推進します。他から選ばれる町とすることが目標です。また、芳賀高校跡地の宅地造成事業に着手し１２４区画の住宅を整備します。今年度は初年度になることから調整池を造成します。
　（２）教育をつなげる教育文化分野では、２つの保育園が民営化され、うち南高根沢は保育所と幼稚園の機能を備えた認定こども園となりました。新たに『のぶ幼稚園』が今年度認定こども園としてスタートします。町補助金の交付を受け建設工事に着手しました。




　また、平成２８年度で文科省による教育課程特例校の指定を受けましたので、小学校の英語教育の充実を図ります。
　（３）話題をつなげる産業経済分野では、芳賀町全体面積の半分は農地で、そのほとんどが水田であり、再圃場整備事業の調査計画を栃木県が平成３０年度までの３カ年実施し、祖母井周辺２２０ｈａを再圃場整備します。地権者の同意を得て５カ年から６カ年で完了させる予定です。
　（４）笑顔をつなげる保健医療福祉分野では、家族の誰かが病気、認知症などになれば、家族が大変な思いをすることから、安心と健康を地域が支える福祉のまちづくりを推進します。
　芳賀赤十字病院が北真岡へ建替え移転するので、芳賀郡市１市４町が１９０億円の負担を平成２８年度から３カ年に分けて納入します。開院は平成３０年度秋の予定です。
　また、国は介護保険制度で要支援は介護保険から分離する方向で進めていることから、今後は行政だけでなく地域の皆さまと共にうまく助け合う制度が必要なので、社会福祉協議会にボランティアセンターを設立しました。
　（５）地域をつなげる安全安心分野では、町民が心を一つにして、絆を大切にしながら安全安心な暮らしやすいまちづくりを推進するため各自治会との連携を進めます。

■ 芳賀町工業団地連協議会からの質問・要望８項目に対する町からの回答については、以下のとおりです。

| | | |
|---|---|---|
| １<br>道路路面改修について | 弊社工場南側の町道は、緩やかなカーブの内側で正門前が排水溝より低く、雨が降ると周囲一帯に大きな水溜りができます。昨年夏の大雨のとき長さ５０mに亘って冠水しました。<br>排水溝の塵や流れ込んだ木々などを定期的に取り除き清掃はしていますが、雨が降ると水溜りができてしまします。これにより、車の通行で歩行者へ水を跳ねかけるばかりでなく、車のハンドルが取られて事故に繋がる危険があります。以上の状況から低くなった町道部分の改修についてご検討をお願い申し上げます。 | 道路の集水桝については、町でも清掃を行っていますが、集中豪雨の際は落葉類が一気に流れてくるため機能を果たせず冠水するところもあります。<br>ご要望の箇所は、現地調査を行ったところ、水溜りを解消するためには、全体的に舗装の上乗せが必要と判断しました。<br>今後修繕が必要な箇所として位置づけ実施して参ります。 |
| ２<br>ケヤキの伐採等について | 弊社正門前にケヤキが植栽され秋には各方面から落葉が敷地内に侵入し、雨水側溝に落ち葉が大量に詰まり弊社敷地内が冠水することもあります。同様に大量のケヤキの枯れ葉が侵入し、工場敷地内及び工場外周も毎朝の枯れ葉清掃が欠かせません。<br>また、過去に弊社南側のケヤキが強風で根元付近から折れました。現状のケヤキは電線に枝葉が触れて大変危険な状態と推測されます。<br>以上のことから、弊社正門前のケヤキ２本の伐採をお願いいたします。さらに弊社のみならず芳賀工業団地内の全てのケヤキについて、電線などに枝葉が触れていないか、また倒木や枯れ枝の落下などによる危険がないか調査して頂きたいと思います。<br>今後、剪定や伐採など必要な措置を継続し、二度と倒木しそうなケヤキを放置することのないよう維持管理の徹底を強く要望いたします。 | 街路樹や周囲の樹木からの落葉については、道路側溝集水桝の清掃に苦慮しています。当該道路の街路樹は工業団地造成の際、道路の緑化とイメージアップのため町のシンボルである「けやき」が植栽されたものですが、植栽から３０年が経過し大木になっています。枝下ろしや幹高をつめるなど、通行車両や周辺に迷惑が掛らぬよう努力しております。電線に触れる場合は、東電により枝下ろしを行っていただいております。<br>町のパトロールや委託造園業者が健全でない樹木を発見した場合は、速やかに伐採するなどの対応をとっておりますが、１００％把握しきれず大雨や強風の際に幹折れや倒木が発生することがあります。状況把握に努め対応してまいりますが異常を発見した場合は、建設課までご一報いただければ幸いです。ご要望のあったケヤキ２本については、特に枯葉が侵入しご迷惑をおかけしているようですので伐採いたしました。 |
| ３<br>道路の水溜り対策について | ホンダ開発（株）様と「けやき台公園」を結ぶ町道は、路面に凸凹や轍があって雨の日は水溜りができ、通行する車からの水はねで歩行者に迷惑が掛っています。また、冬季は水溜りが凍結し通行車両及び歩行者が危険な状況です。<br>つきましては、水溜りのできない路面に整備で歩行者や通行車両の安全を確保されるようお願いいたします。 | 調査しましたところ、掘り返した部分がわだち掘れしており縦断方向に水溜りができることが確認できました。<br>改善策としては、舗装の打替えが必要と判断しますので、今後修繕が必要な箇所として位置づけ実施して参ります。 |

| | | |
|---|---|---|
| ４<br>町道拡幅の要望について | 町道 0207 号線については、北は大塚地内から南は谷津公民館までの拡幅工事完了箇所は、通勤及び生活道路として利便性が向上しています。<br>しかし、谷津公民館から西進する芳賀工業団地内の「けやき台公園」方向（約 320m）及び南進する町道 0114 号線まで（約 160m）は拡幅されず狭いままで不便を強いられています。<br>このように谷津公民館付近までで拡幅整備が中断していることから、町道全線の拡幅整備完了を以って果たされるべき道路機能が不十分な状況で放置されています。<br>つきましては、谷津公民館付近から西路線と南路線の拡幅未整備箇所を早急に整備していただき、町道 0207 号線の全線が有効活用できるよう要望させていただきます。 | 町道０２０７号三日市・大塚線については、安住神社以南を除き拡幅工事を終了しております。しかし、ご指摘の谷津公民館から２５m道路（０１１４号）までの区間につきましては地権者の同意が得られず道路改良を断念しておりました。<br>今後、LRTの整備と併せ用地の協力についてご理解をいただきながら、道路整備についても進めたいと考えております。 |
| ５<br>信号機設置要望について | ホンダ開発(株)様と日本梱包運輸倉庫(株)様の間にある２５m道路交差点は、片側２車線の南北道路の交通量が多く、東西道路から２５m道路を横断または右折しようとする場合、多くの危険（特に南進車両は交差点方面へ坂を上がるロケーションのため死角になり易い）がともない、現実に事故が多発しております。最近時は徒歩での通勤者も目立って参りましたので、危険度は増すばかりの状況であります。<br>近隣企業様にはご迷惑をお掛けしておりますが、弊社従業員も昨年８月６日（木）８時 05 分頃、右直事故（当事者車両横転）、本年７月 14 日（木）８時 50 分頃にも右直事故（当事車両横転）を発生させてしまいました。<br>幸い両件とも重大な怪我には至っておりませんが、毎年何件かの交通事故が発生していますので、懸念される重大事故発生を防止するため信号機設置を要望させていただきます。所管する警察署への要望など芳賀町の特段の御支援と御協力をお願い申し上げます。 | 信号機の設置につきましては、所管の警察署が窓口となりますので、新規設置について町を通じて真岡警察署に要望いたします。併せて、工業団地連絡協議会におかれましても、ご要望くださるようお願いいたします。<br>ただし、ＬＲＴ導入にあたり交差点での右折確保、ＬＲＴとの交差を避け安全性を確保するため関係機関との協議により信号機を設置することとしています。その際、信号パターンについては、交通シミュレーションによる交通影響評価により、信号サイクルの時間や管理センター交差点との連動などについて最適化を図ることになります。 |
| ６<br>交通安全対策について | 宇都宮テクノ街道から芳賀工業団地の芳賀台北交差点を経て芳賀台南交差点までの幹線道路は、早朝や夜間など比較的交通量の少ない時間帯に法定速度を超えて走行する車両が目立ちます。時速６０ｋｍの法定速度で走行する一般車両や横断歩行者にとって危険な状況も見受けら | ご要望の交通安全対策につきましては、特に、芳賀バイパスの開通により、法定速度を大きく上回るスピードで走行する車両が目立つため、速度取り締まりも実施されていますが、大きな事故につながることも予想されますので、町を通 |

| | | |
|---|---|---|
| | れます。<br>　そこで、速度厳守するよう注意する標識や路面標示等による注意喚起とともにスピード取り締まりなどの交通安全対策を早急にお願いいたします。<br>　また、隣接する宇都宮市ゆいの杜の発展にともない、特に夜間は暴走族や暴走行為をする集団が見受けられほか、車両盗難事件などの犯罪も発生するなど、芳賀町でも治安の悪化が懸念されています。<br>　つきましては、交通安全対策とともに防犯対策についても万全を期すようお願いいたします。 | じて所管の真岡警察署に要望します。<br>　また、防犯対策につきましても、併せて要望いたします。 |
| ７<br>中央分離帯植栽の視認向上について | 　県道６４号線の芳賀台北交差点から南側で、東鉄運輸（株）様と澁澤倉庫（株）様に挟まれた交差点は、北・東側からの右折や南からの直進時に中央分離帯の植栽が高いために視界が悪く危険です。<br>　可能であれば植栽の高さを低くするなど、交差点における視認向上の改善を要望いたします。 | 　交差点付近の中央分離帯は南北それぞれ２０m程度防草シートを施工し松葉菊を植栽しており、一般的な車両では支障にならないところですが、座席の低い車においては見づらいとのこともありますので、対応いたします。 |
| ８<br>横断歩道の設置要望について | 　弊社では構内駐車場の収容台数が大幅に不足し、宇都宮市ゆいの杜地内のスーパーカスミ南側２箇所に８０台分の外部駐車場を賃貸で確保しています。<br>　弊社の西門と外部駐車場の間には８メートルの町道があり、交通量が多く非常に危険なため、道路を横切り横断する従業員に対し遠回りになりますが、信号機のある北側交差点の横断歩道または信号機のない南側交差点の横断歩道を渡るよう指導を徹底しています。<br>　ただし、道路を横切ることなく遠回りをして、北側の既設横断歩道を使用する場合、或いは南側交差点を渡る場合でも、駐車場から歩道のない８メートル町道の端を歩行することから危険がともないます。<br>　ついては、歩行者が安全に通行できるよう西門と外部駐車場間の８メートル町道に横断歩道を設置していただきたく要望いたします。 | 　横断歩道やその他の道路標示の設置につきましても、所管の警察署が窓口となりますので、新規設置について町を通じて真岡警察署に要望いたします。併せて、工業団地連絡協議会におかれましても、ご要望くださるようお願いいたします。 |

# ■ 交通防犯部会

## １）第３回交通防犯部会開催

９月２０日開催した第２回交通防犯部会には１２社から１２名の参加をいただきました。

会議前に交通安全のぼり旗を設置する予定でしたが、台風１６号の影響による雨で交通安全のぼり旗の設置は延期しました。

雨が小止みになった頃合いを見計らって会議を中断し、交通安全横断幕だけは管理センター前交差点及び芳賀台交差点２カ所に設置を済ませました。

会議では、９月１日付けで部会長に就任した風呂敏明部会長が「風呂という珍しい姓なので覚えていただけると思います。ホンダエンジニアリング㈱でハイブリット車などの車を作る為の機械を製造する設備製作部門で仕事をしています。皆様のご協力をいただきながら部会長を務めさせていただきますので、よろしくお願いします」と挨拶しました。

協議事項では、延期したのぼり旗設置、街頭広報活動、のぼり旗撤去など秋の交通安全県民総ぐるみ運動に関する活動内容を決定しました。

また、１０月２７日（木）午前中に実施する動画 KYT による安全運転講習会、年末交通安全運動について協議しました。

## ２）交通安全街頭広報を実施

秋の交通安全県民総ぐるみ運動が９月２１日から３０日までの１０日間にわたり実施されました。芳賀町交通安全対策連絡協議会の呼びかけで交通事故防止に向けた取組みの一つとして、工業団地管理センター前交差点において交通安全街頭広報活動を行ないました。

芳賀町副町長上野哲男様、真岡警察署生活安全課長別井則崇様からのご挨拶のあと、町内駐在所警察官、地域交通安全推進団体代表の皆さまをはじめ芳工連交通防犯部会メンバーなど総勢約５０名が、交差点に信号待ちで停車したドライバーに交通安全啓発チラシなどを配布しました。

県内、町内ともに交通事故発生件数は減少傾向にありますが、ドライバーの一人一人が安全運転を意識して、さらに交通事故発生件数が減少するよう参加者は交通安全を呼びかけました。

街頭広報活動終了後になりましたが、交通防犯部会のメンバー12 名は、雨で設置できなかった交通安全のぼり旗を工業団地管理センター前交差点に設置しました。

有難うございました。

## ■ 総務企画部会

９月 21 日に総務企画部会が主催する第 35 回ボウリング大会を開催しました。17 社から６８名の参加をいただき盛大な大会となりました。

開始の合図で一斉に拍手がわき起こり、参加者の闘志が燃え上がりました。入社１年目の社員と管理職がチームを組み、一投ごと歓喜に沸く様子は微笑ましい限りでした。

１７チームによる熱戦でしたが(株)ショーワ様（写真右下)が高スコアで優勝しました。準優勝は(株)オートテクニックジャパン様、３位は（株)ホンダテクノフォート様でした。

表彰式で中山総務企画部会長は､｢回を増すごとに参加人数が多くなって大変有難い限りです。社内の親睦や会員相互の親睦を図るうえで意義ある事業になっていると思います。さらに多くの会員企業様に参加いただけるよう願っています｣と挨拶しました。

今回も豪華賞品を(株)ホンダテクノフォート様、AGC オートモーティブウインドウシステムズ(株)様、エヌケイエンジニアリング(株)様、(株)日高精機様、協永堂印刷(株)様、大星電機(株)様、(株)サンクレール様、(株)栗崎歯車製作所様、日本梱包運輸倉庫(株)様、(株)オートテクニックジャパン様、ホンダ開発(株)様、(株)ベストロジ栃木様、ホンダエンジニアリング(株)様からご提供いただきました。大変有難うございました。

## ■ 安全衛生部会

今年度第３回となる普通救命講習会を９月３０日開催しました。講習会には１５社から２４名の皆様が参加されました。講師は消防芳賀分署の救急救命士など３名の隊員が務めてくれました。

救急車が到着するまで狼狽えることなく､そばに居合わせた私たちが救命措置を行なえることが大切です。そこで、心肺蘇生法や AED の使用方法を身につけておくことが重要になるわけです。受講者は８人編成の３グループに別れ、上半身だけのマネキンを使用して一人一人が心肺蘇生法や AED 使用方法を研修しました。

胸を圧迫する「胸骨圧迫」と、口から肺に息を吹き込む「人工呼吸」により、止まってしまった心臓と呼吸を回復させます。さらに、心臓停止状態の場合は、出来るだけ早く心臓に電気ショックを与え、心臓の動きを取り戻すため音声メッセージに従って AED（自動体外式除細動器）を使用します。操作は一人ずつマネキンで実技体験しました。

受講者の約８割は初参加でした。感想で「会社内に AED はあるが、中身を見たことはなかったので今回の研修は役に立った｣､｢AED 操作は難しくなかったが人工呼吸は想像以上に難しかった｣､｢実技がメインで大変役に立った｣､｢忘れないよう定期的に受講したい｣､｢今後は災害や不慮の事故等に直面したときは積極的に救命活動に参加したいと思う｣などのご意見を頂戴しました。

## ■ 環境整備・交通防犯部会が情報交換会を開催

９月２日に環境整備部会と交通防犯部会による合同の情報交換会を宇都宮市内で開催したところ１２社１４名の参加がありました。

両部会長からご挨拶をいただき、和やかな雰囲気で情報交換会をスタートしました。

団地内に立地する企業の事業概要は理解しているつもりでしたが、参加者それぞれから自己紹介を兼ねた会社の紹介があり、想像以上にグローバルな業務展開をしている事実、宇宙産業への進出、特殊製品輸送などの紹介があり、参加メンバーから驚嘆の声が発せられました。

また、ウィツトに富んだ自己紹介に笑いが止まりません。流石に話し上手のメンバーばかりで楽しい一時を過ごしました。

各テーブルでは、部会活動の理想を熱く語り、活動のアイディアを議論するなど、部会活動への熱意が感じられました。

初参加のメンバーから、「会社内のことしか知らなかったが、多様な業種の皆さまと話し合うことができたので参加して良かった」と、感想をいただきました。部会活動の参考となる話題が飛び交う有意義な情報交換会となりました。

## ■ お知らせコーナー

### 栃木県産業労働観光部長との意見交換会を予定

１１月２日（水）午後３時から工業団地管理センターにおいて栃木県産業労働観光部長との意見交換会を予定しています。

意見交換会で県から回答いただきますので、県に対する質問・要望があれば１０月７日（金）までに事務局へご連絡くださるようお願いいたします。

また、参加を希望される会員企業様は１０月２１日（金）までに事務局へお申込みくださるようご連絡します。

### 芳工連日誌

【９月の実績 】

| | |
|---|---|
| １日 | 芳賀町民祭第２回担当者会議 |
| ２日 | 環境整備・交通防犯部会情報交換会 |
| １３日 | 全国労働衛生週間説明会 |
| ２０日 | 交通防犯部会のぼり旗設置 |
| ２０日 | 第２回交通防犯部会 |
| ２１日 | 交通安全街頭広報活動 |
| ２１日 | 芳賀町長との意見交換会 |
| ２１日 | 第３５回ボウリング大会 |
| ２８日 | 資源ごみ回収日 |
| ３０日 | 普通救命講習会 |

【１０月の予定 】

| | |
|---|---|
| ３日 | 交通安全のぼり旗撤去 |
| ４日 | 芳工連第３回役員会 |
| ５日 | 栃木地地方産業安全衛生大会 |
| ７日 | 芳賀町観光協会視察研修 |
| １１日 | 総務企画部主催若手研修会 |
| ２０日 | 第３回クリーン作戦 |
| ２４日 | 管理センター管理組合役員会 |
| ２６日 | 資源ごみ回収日 |
| ２７日 | 安全運転動画 KYT 講習会 |